

## 次期下水道事業経営計画について

### 1. 計画の概要

#### (1) 計画期間

2020年度～2029年度（10年間）

#### (2) 計画の位置づけ

- ・長期計画基本構想「こうべ下水道みらい2025」の実施計画
- ・総務省より策定を求められている「経営戦略」として、位置づける。

#### (3) 計画の構成

章立て		概要
1章	改定の背景と目的	背景と目的、計画の位置づけ、計画期間
2章	現状と課題	社会的情勢、下水道事業に関する国の動き 神戸市における市政の動き 神戸市における下水道事業の取り組み、現状と課題
3章	神戸市下水道事業 経営計画の評価	現行の中期経営計画における 事業および経営状況の進捗を整理
4章	神戸市下水道事業が 目指す将来像	目指すべき将来像
5章	経営計画の基本方針	将来像の実現に向けた基本方針 基本方針に基づく施策、取組
6章	経営計画の進捗管理	計画のフォローアップ、管理指標

### 2. 経営計画の基本方針（第5章）

- ・計画の基本方針と施策、具体的な取組をまとめている。
- ・それぞれの詳細については、2ページを参照。

### 3. 経営計画の進捗管理（第6章）

- ・計画期間内における事業や経営に関して、PDCAサイクルにより、フォローアップを行う。
- ・PDCAサイクルおよび管理指標については、4ページを参照。

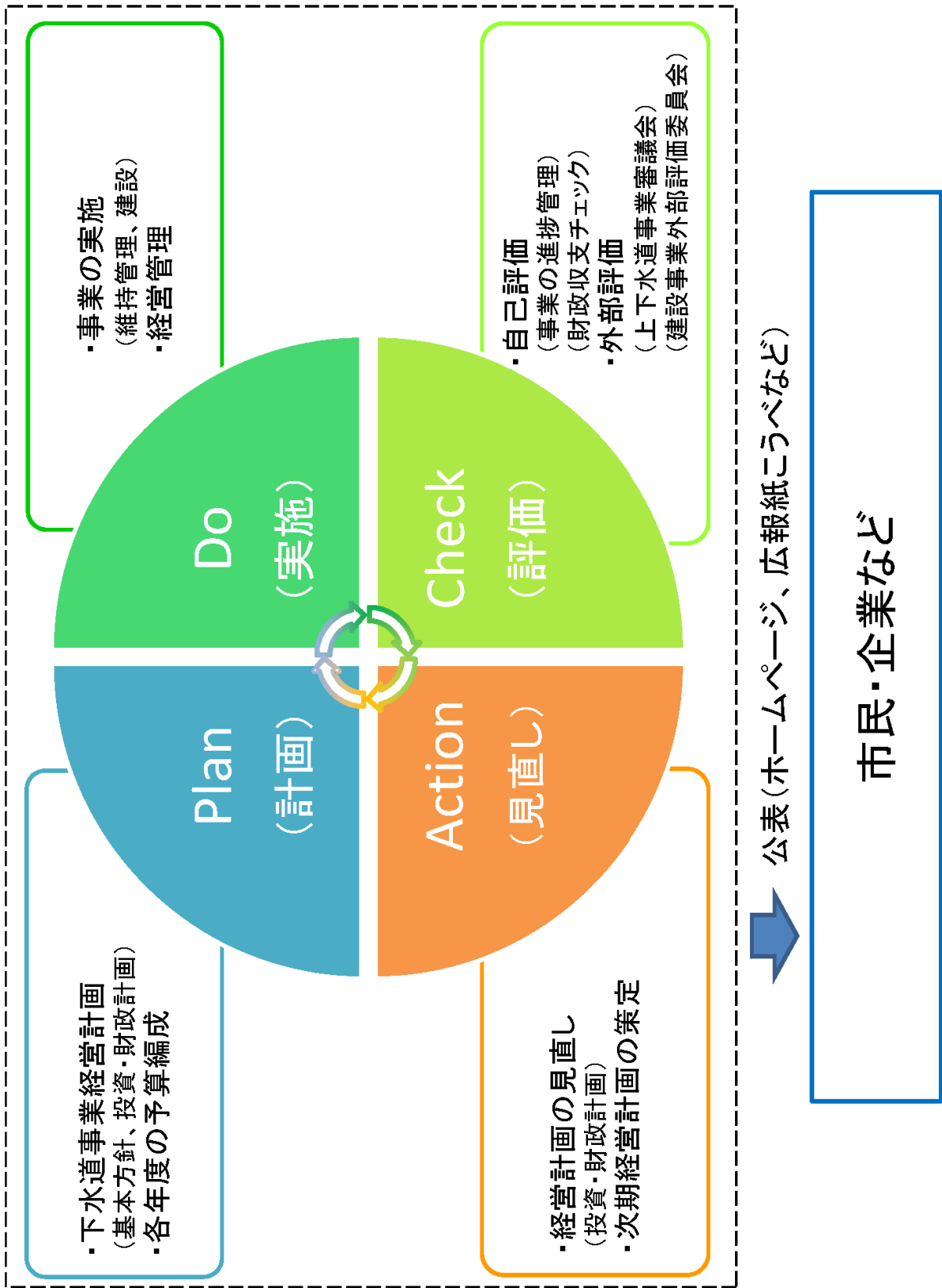
## ○第5章（経営計画の基本方針）の概要（1 / 2）

基本方針	目標	施策	具体的な取組
<p>快適な市民生活と社会活動を支えます</p>	<p>安心して使用できる下水道を維持し、市民生活や社会活動を支えます。</p>	<p>ストックマネジメント計画の策定</p> <p>管きよの適切な維持管理、更新</p> <p>下水排除機能の持続</p> <p>汚水処理システムの再編</p>	<p>具体的な取組</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・最適な維持管理・改築更新の事業量・事業費算定</li> <li><b>管きよの点検・調査および修繕・改築</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・管きよの点検・調査結果に基づく修繕・改築の実施</li> <li>・不明水対策の実施</li> </ul> </li> <li><b>管きよの改築更新</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・管更生工法による改築更新の実施</li> </ul> </li> <li><b>施設の点検・調査および補修・修繕</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・処理場・ポンプ場の点検・調査、補修・修繕の実施</li> </ul> </li> <li><b>施設の改築更新</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・処理場・ポンプ場設備の改築更新の実施</li> <li>・西部処理場、ポータライランド処理場の改築更新の実施</li> </ul> </li> <li>・処理場のコンパクト化、ポンプ場廃止の検討</li> </ul>
<p>災害に備える安全・安心なまちづくりを進めます</p>	<p>地震が発生しても使用できる下水道を目指します。</p> <p>床上浸水や道路冠水による長時間の通行規制を防ぎます。</p> <p>豪雨時の避難に役立つ情報を発信します。</p> <p>非常時でも、下水道サービスを提供できる体制を目指します。</p>	<p>下水道施設の耐震・耐津波化</p> <p>浸水対策</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・管路および処理場・ポンプ場の耐震診断と耐震補強などの実施</li> <li>・改築更新時における処理場・ポンプ場の設備の耐水化</li> </ul> <p><b>継続した施設の整備</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・東川崎地区、西河原地区などでの浸水対策の実施</li> <li>・浸水原因を分析し、関係機関と連携した浸水被害の解消</li> <li>・高潮の影響で破損した圧力管まよの耐圧化</li> <li>・既設ポンプ場の排水能力向上</li> </ul> <p><b>浸水に対する情報発信の充実</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ハザードマップの定期的な更新とその発信</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・非常時対応体制の構築に関する取り組みの実施</li> </ul>

## ○第5章（経営計画の基本方針）の概要（2/2）

基本方針	目標	施策	具体的な取組
<p>良好な水環境と循環型社会の実現に貢献します</p>	<p>河川や海の水質保全を通して、自然豊かな神戸のまちに貢献します。</p>	<p>良好な水環境の実現</p>	<p><b>水質指導・規制</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事業場への立入検査、排水管理責任者への講習の実施</li> </ul> <p><b>水質管理</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・水質管理計画に基づき、放流水質と経費の適正管理の実施</li> </ul>
<p>資源の有効利用や温室効果ガスの抑制などを通して、持続可能な暮らしと社会に貢献します。</p>	<p>資源の有効利用や温室効果ガスの抑制などを通して、持続可能な暮らしと社会に貢献します。</p>	<p>循環型社会の実現</p>	<p><b>下水道資源の有効利用</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・消化ガスや焼却灰など下水処理の過程で発生する資源の有効利用</li> </ul> <p><b>地球温暖化対策の推進</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・省エネ機器への更新、再生可能エネルギーの利活用の実施</li> </ul>
<p>下水道の見える化に取り組みます</p>	<p>安心で快適な下水道を体感し、理解していただけるよう取り組みます。</p>	<p>身近に感じる下水道</p>	<p><b>体験する・学べる広報の実施</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・水環境フェア、「こっぺらバス」を活用した広報の実施</li> </ul> <p><b>市民との協働による広報の展開</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「アクアサポーター」の取組推進</li> </ul> <p><b>多角的な情報発信の実施</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・SNSなどを活用した情報発信の実施</li> <li>・市民用展示施設の利用促進</li> </ul>
<p>下水道が保有する資産やノウハウで豊かな生活・社会に貢献します。</p>	<p>下水道が保有する資産やノウハウで豊かな生活・社会に貢献します。</p>	<p>地域に貢献する下水道</p>	<p><b>下水道用地の利活用による地域貢献</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・下水道用地の利活用により、地域の活性化に貢献</li> </ul> <p><b>地元企業等との連携による国際協力事業の推進</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・水インフラ事業（国際展開）を通じた地元企業の支援</li> </ul>
<p>安定した下水道サービスを提供します</p>	<p>将来も安全・安心・快適な下水道サービスを提供します。</p>	<p>安定した経営</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・経営の見直し（使用料収入や諸経費などの見直し）</li> <li>・財政計画の見直し（単年度収支、経費回収率）</li> <li>・研修の実施、下水道サービスの利便性向上、新技術の導入</li> </ul>

○第6章 (経営計画の進捗管理) PDCAサイクルによる計画のフォローアップ



## ○第6章（経営計画の進捗管理） 管理指標および進捗目標の一覧

基本方針	施策	管理指標	具体的な内容	進捗目標 (H32～41)
快適な市民生活と 社会活動を支えます	管さよの適切な 維持管理、更新	☆管さよの点検・調査延長	目視点検・カメラ調査などの実施	700km
		汚水管さよ 雨水管さよ		400km
災害に備える 安全・安心な まちづくりを進めます	下水排除機能 の持続	☆汚水管さよ（汚水）の改築延長	管更生工法などによる改築の実施	450km
		☆処理場の改築更新		施設の建設、設備の設置など
	下水道施設の 耐震・耐津波化	西部処理場（北系）、垂水処理場（東系） PI処理場の改築更新	緊急輸送路(国道)の横断部 災害時における拠点施設の下流	
		☆優先的に実施すべき管さよの耐震化		揚排水・簡易沈殿・消毒機能の確保 ※汚水・雨水ポンプ場は揚排水機能の確保
浸水対策	☆地震時における最低限の機能確保※	継続的な事業実施による床上・床下浸水の解消 最新の設計基準を適用したポンプの改築更新	平均100%以上	
	処理場 汚水ポンプ場 雨水ポンプ場			5地区 4箇所
安定した 下水道サービスを 提供します	浸水対策	☆経費回収率	安定した経営による経費回収率100%以上の確保	毎年黒字
		☆単年度収支	収益的収支の黒字	毎年黒字

※・・・耐震性の確保、一部系列での確保を含む。